

平成 25 年度 大学職員情報化研究講習会 ～応用コース～
第 2 分科会「教学マネジメントを活性化するための ICT の活用」
グループ討議の討議内容についての報告 〈グループ B〉

Bグループの討議では、まず、自己紹介を兼ねながら、教学マネジメントに関する各大学の現状および討議内容への期待について順番に発表し、続いて、以下のとおり、(1)3ポリシーおよびカリキュラムマップの作成、(2)教学マネジメントの意思決定組織、についてそれぞれ情報交換および意見交換を行なった。

(1) 3ポリシーおよびカリキュラムマップの作成

カリキュラムマップの作成状況としては、全く作成に至っていない大学、作成はしたが十分にディプロマ・ポリシーに反映できていない大学などが多くみられた。また、次のとおり意見等があった。

[意見等]

- ・女子大では、資格・免許系の学科が比較的多く、カリキュラムは取得に必要な科目で決まってしまう部分が多くある。このため、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーの必要性にも疑問が残る。
- ・学科の専門科目は、ディプロマ・ポリシーから各科目へ具体化し反映させていくが、全学共通の教養科目では、ディプロマ・ポリシーという概念ではとりまとめられない。
- ・理念としては、学部のディプロマ・ポリシーを作成してから各科目に落とし込むべきだが、各学科・専攻からボトムアップでディプロマ・ポリシーを作成するのが現実的ではないか。
- ・地域連携と関連し、その地域の産業界からのニーズをどのようにカリキュラムに反映させていくかも課題である。

(2) 教学マネジメントの意思決定組織

教学マネジメントへの取り組み方は、トップダウンや教授会主導等、各大学の運営の仕方(ガバナンス)によってさまざまであった。また、次のとおり意見等があった。

[意見等]

- ・3ポリシーから具体化して各改革事項へ反映するという順を追った方法では改革が進捗しない場合は、FD から具体的に積み上げて進める方法もある。
- ・教学マネジメントについてPDCA が体系化され、機能的に組織全体で学部を束ね改革を進める必要があるが、大学によってはそのための組織が明確になっていない場合がある。

今回は、話し合いの時間が少なく、表面的な議論におさまる本題であるICT活用まで踏み込むことができなかった。研修の構成としては、とても参考になる講演が組まれ有意義であったが、もう少しグループでゆったりとワークができる時間がほしい。

以上